

国語

十一時十五分～十二時四十五分（九〇分）

注意事項

- 一、解答開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
- 二、問題は、□から○までの計四問です。□から○までのすべてを解答しなさい。
- 三、解答用紙は一枚で、解答欄は両面にあります。解答は、すべて解答用紙の指定欄に記入しなさい。
- 四、解答開始の合図があつた後に、必ず解答用紙に本学の受験番号を記入しなさい。
- 五、印刷不鮮明及びページの落丁・乱丁等に気づいた場合は、手を挙げて監督者に知らせなさい。
- 六、問題冊子の余白等は適宜利用してよい。
- 七、試験終了後、問題冊子は持ち帰りなさい。

一

次の文章を読んで、後の問いに答えよ。

著作権の関係上、本文等は掲載できません。(P154)
出典情報のみ掲載します。

出典等… (國分功一郎『中動態の世界―意志と責任の考古学』による。出題の都合により一部改変した。)

問一

問二

問三

問四

二

次の文章を読んで、後の問いに答えよ。

著作権の関係上、本文等は掲載できません。
出典情報のみ掲載します。(P5～6)

出典等 ..

『無名抄』による。

問
三

問
二

問
一

ころがある。

設問の都合上、送り仮名を省略したところがある。また、本文を一部省略したと

(A)

出典等 .. (『論語』泰伯篇による。)

(B)

出典等 .. (朱熹『論語集注』泰伯篇による。)

(C)

著作権の関係上、本文等は掲載できません。(P758)
出典情報のみ掲載します。

問四 問三 問二 問一

出典等 ..
『二程全書』遺書、伊川語による。

四

消費者庁では、政策の企画立案にいかすことを目的として、日常の消費生活における意識や行動、消費者トラブル（消費者事故・消費者被害）の経験等について「消費者意識基本調査」を実施している。令和三（二〇二一）年度は一月に全国の満15歳以上の消費者一人に対して調査が行われ、それをまとめた『令和4年版消費者白書』が令和四（二〇二二）年六月に公表された。

白書では、特に若者（10歳代後半・20歳代）の消費者トラブルには副業や投資などのもうけ話や美容に関する定期購入関係の事例が目立っており、その背景に若者自身のぜい弱性（契約に関する知識や警戒心不足、悩みや不安、現状を変えたい気持ち、経済的な余裕のなさなど）が関係している可能性が指摘されている。

この白書の「消費者意識基本調査」のデータに基づいて、次の資料を用意した。

資料1 困っていることや心配事の相談先に関するグラフ

資料2 この一年間に消費者トラブル・被害にあつた経験がある割合に関するグラフ

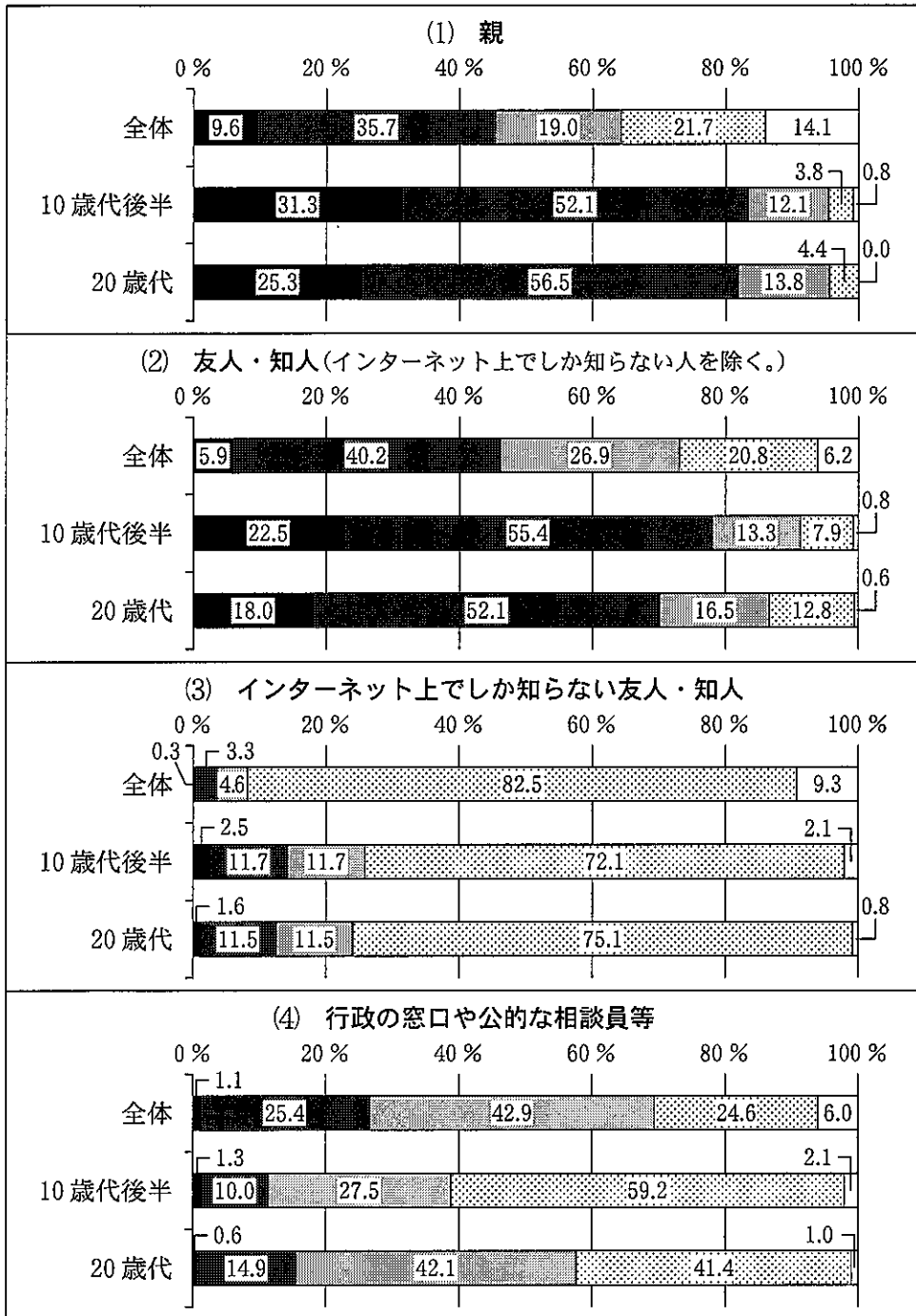
資料3 消費者トラブルへの不安を感じる理由のグラフ

これらの資料をもとに、次の問いに答えよ。

問一 資料1から読み取れる若者（10歳代後半と20歳代）の相談先の特徴を、(1)～(4)を比較しながら、二点挙げよ。

問二 資料2と資料3から読み取れる消費者トラブル・被害の経験や不安について、10歳代後半と20歳代の特徴をそれぞれ挙げよ。

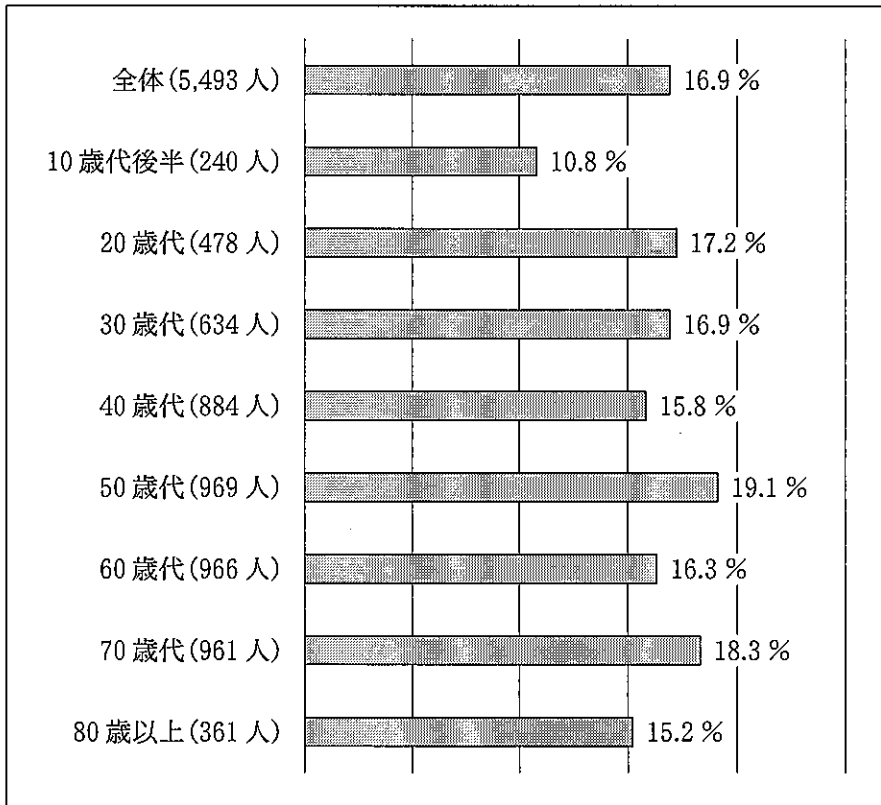
問三 問一・問二の読み取りをふまえ、若者における消費者トラブルの未然防止に向けて、社会的にどのような対応が求められるか、また、あなたはどのように行動すべきと考えるか、二五〇字以内で述べよ（句読点、記号等も一字に数える）。



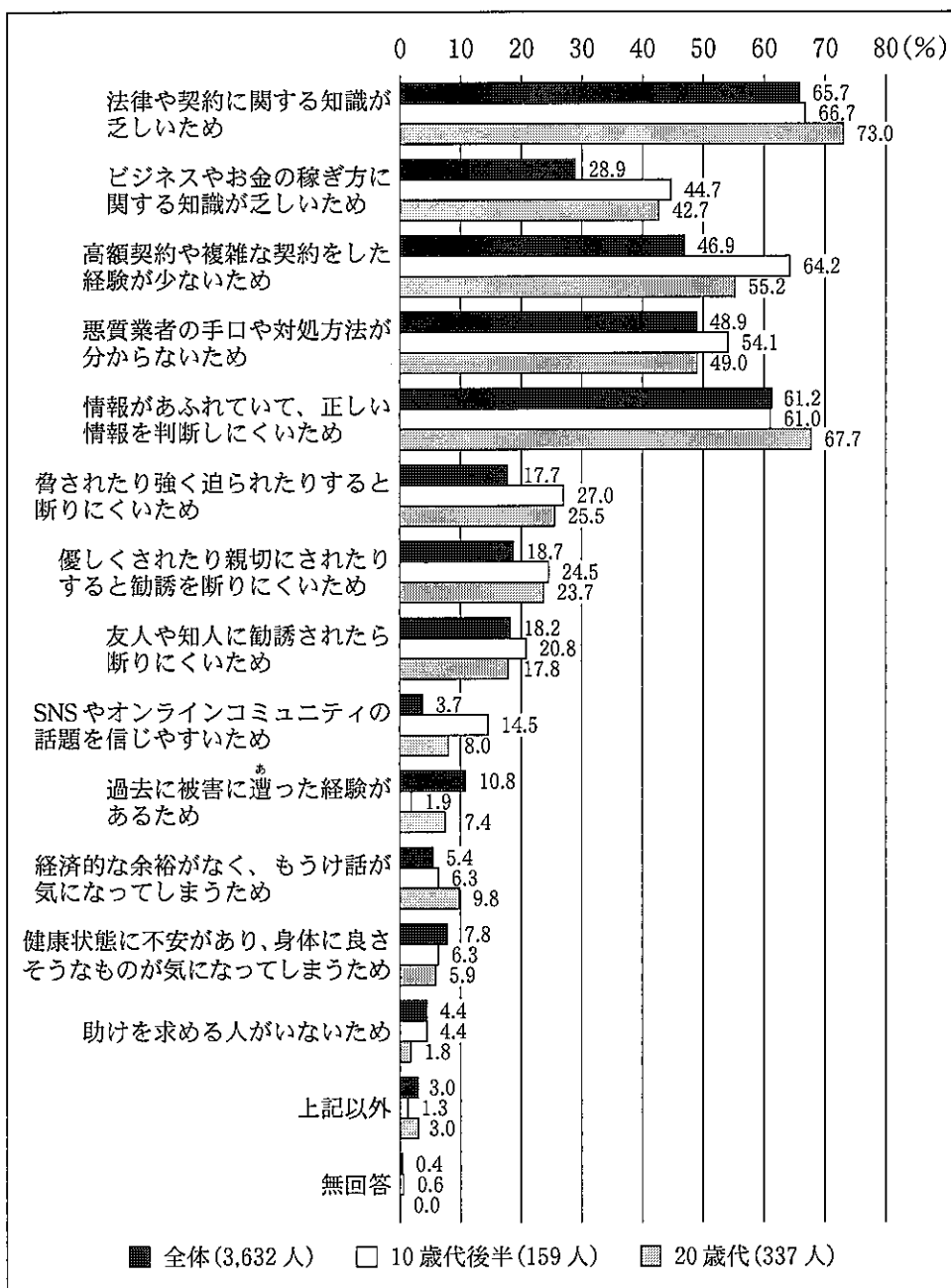
全体(5,493人) 10歳代後半(240人) 20歳代(478人)

- (凡例)
- どんなことでも相談できる
 - 必要に応じて相談する
 - ▨ どうしても必要な時に限り相談する
 - ▨ 相談先とは考えていない
 - 無回答

資料2 この一年間に消費者トラブル・被害にあった経験がある割合に関するグラフ



資料3 消費者トラブルへの不安を感じる理由のグラフ



(備考) 消費者トラブルにあうおそれについて、不安を感じると回答した人(3,632人)に、不安を感じる理由を尋ねた。それに対する回答を項目別に表示した(複数回答)。